

「日本トレーサビリティ協会の5年を振り返る」

日本トレーサビリティ協会は5年目をむかえました。この5年間で行ってきたトレーサビリティに関する様々な試みの成果と、現状の到達点や問題点を改めて確認することにより、今後の5年に向けて日本トレーサビリティ協会が向かう方向性を探っていきます。また今回よりトレーサビリティテストを踏まえ、トレーサビリティ力の優れた企業・団体を表彰いたします。

開催日時 2010年8月24日(火) 13:30~17:30(開場12:30)

会場 札幌コンベンションセンター特別会議場

参加費 無料

定員 先着350名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
申込締切日/8月13日(金)

- プログラム**
- ① 第3回トレーサビリティテストの表彰式
 - ② 基調報告 「日本トレーサビリティ協会の5年を振り返って」
大見 英明氏(日本トレーサビリティ協会 代表)
 - ③ 事例報告1 「鶏卵のトレーサビリティシステム導入5年の成果」
長内 大介氏(株式会社ホクリョウ 代表取締役社長)
 - ④ 事例報告2 「卸におけるエウデリカシステムに関する報告」
村越 絵弥理氏(日本アクセス北海道株式会社)
 - ⑤ 研究報告 「食品表示意義と理解促進のために」
池戸 重信氏(公立大学法人 宮城大学 副学長・食産業学部 教授)
(発表)
・わかりやすい食品表示に関する研究
石澤 洋子氏
・表示体験試験方式による理解度促進効果等に関する研究
星 瑤子氏
 - ⑥ 基調講演 「牛のトレーサビリティとその活用について」
池田 正樹氏(農林水産省 農林振興課 個体識別システム活用班 事業推進係)

講師紹介

池戸 重信氏

(公立大学法人 宮城大学 副学長・食産業学部 教授)



1972年農林省入省、東京農林水産消費技術センター所長、食品流通局消費生活課長、独立行政法人農林水産消費技術センター理事長等を経て、2005年4月から、宮城大学食産業学部フードビジネス学科教授、2009年4月から同大学副学長・食産業学部長。食農関係論、食生活論などに関する著書多数。

池田 正樹氏

(農林水産省 農林振興課 個体識別システム活用班 事業推進係)



平成2年に農林水産省に入省、平成15年7月から消費・安全局衛生管理課牛トレーサビリティ監視班、その後、関東農政局東京農政事務所牛トレーサビリティの流通段階を担当し、食肉卸・食肉小売店等の巡回を実施。平成20年4月から生産局畜産部畜産振興課個体識別システム活用班で家畜個体識別システムの有効活用に関する業務に携わる。

大見 英明氏

(日本トレーサビリティ協会代表、生活協同組合コープさっぽろ理事長)



1982年コープさっぽろ入協し、1997年リニューアル本部長、その後水産部長、商品本部長、事業管掌・専務理事を経て、2007年に理事長。2006年に日本トレーサビリティ協会を設立。

長内 大介氏

(株式会社ホクリョウ 代表取締役社長)



1958年生まれ、北海道室蘭市出身
一橋大学商学部卒業、北海道電力(株)を経て1993年(株)ホクリョウに入社。2003年代表取締役就任。

村越 絵弥理氏

(日本アクセス北海道株式会社)



営業本部 販促第一T
販促G 栄養士

会場

札幌コンベンションセンター 特別会議場

札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
011-817-1010

交通機関

・地下鉄東札幌駅 1番出口より 徒歩約8分



夏季セミナー参加申込書

① FAXによるお申し込み

FAX:011-671-5744

日本トレーサビリティ協会 (事務担当 坂崎)

下記の必要事項欄にご記入いただき、上記番号までFAXをお送りください。

企業・団体名		
参加人数		
所属部署と窓口者のお名前		
上記の方の連絡先	TEL	FAX
	Eメール	

② メールによるお申し込み

jtra@todock.jp

日本トレーサビリティ協会 (事務担当 坂崎)

上記申込書の記載事項を上記メールアドレスまでお知らせください。

申込締切日 8月13日(金)

※お申込頂いた時点で参加登録しますので、別途登録通知はいたしません。

この件に関するお問合せ先 / 日本トレーサビリティ協会 事務局

TEL:011-671-2709 (相羽、中村、坂崎)

FAX:011-671-5744